

ホンドタヌキの「ふき」「きん」

野生のタヌキを見かけた経験はありますか？ 日本の在来種で私たちの「ご近所さん」といえる動物なんですよ。それなのに、じっくりと顔や体つきを見たことのある方は、意外に少ないのではないのでしょうか。

タヌキは食肉目・イヌ科に分類され、日本には北海道に生息するエゾタヌキと、本州に生息するホンドタヌキの2種類がいます。イヌ科の動物は本来、木登りがあまり得意ではなく、地面を走ることにたけた脚をしています。

飼育員 日誌

須坂市動物園



もっともタヌキの脚部は短くて、体つきも丸めなので、それほど速くないんです。そこがまた、かわいいんですけどね。

タヌキの顔

よーく見たら垂れ目じゃなかった！

たとえば、丸くて目の周りが黒く、垂れ目との印象を持たれているかもしれない。でも、写真の「ふき」(右)と「きん」をよく見てください。実際は、模様によってそう見えるだけなんです。夏毛の時期は顔の毛の量が少なく、やや三角顔に見えたりするなど、季節による変化もあります。

野生のタヌキではそこまで観察しにくいこともあるためか、ホンドタヌキ舎の前では、「こんなにかわいいかったんだ」という来園者の声を聞くこともあります。



(ホンドタヌキ担当 笹井恵)